

出雲市全体 業種別景況（令和3年4月～令和3年6月期）

《全業種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				今期(令和3年4月～6月期)と比べた 来期(令和3年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	29.9	33.9	36.2	△ 6.3	38.8	27.6	33.5	5.3	23.7	49.7	26.6	△ 3.0
2 採算（経常利益）	18.0	50.0	32.0	△ 14.0	25.3	44.7	30.0	△ 4.7	14.1	58.2	27.6	△ 13.5
3 資金繰り	5.3	75.4	19.3	△ 14.0	8.3	74.4	17.3	△ 8.9	4.2	78.6	17.3	△ 13.1
4 従業員（含 臨時・パート）	11.9	74.4	13.7	△ 1.8	13.3	69.7	17.0	△ 3.6	8.5	84.8	6.7	1.8
5 商品（製品）在庫	8.3	76.9	14.7	△ 6.4	9.2	73.0	17.8	△ 8.6	11.2	76.3	12.5	△ 1.3
6 業況（自社）	13.2	57.5	29.3	△ 16.1	17.8	58.0	24.3	△ 6.5	14.0	62.0	24.0	△ 9.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	33.9	4.6	12.3	26.2	21.5	10.8	23.1	1.5	66.1
2 来 期	36.5	4.3	14.5	33.3	18.8	11.6	17.4	0.0	63.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	50.0	10.6	11.3	9 金利負担の増加	0.0	1.4	2.6
2 新規参入業者の増加	1.8	5.6	3.5	10 代金回収の悪化	0.0	1.4	2.6
3 単価の低下・上昇難	6.0	6.3	10.4	11 事業資金の借入難	0.0	1.4	0.0
4 材料（原材料）等の入手難	6.5	7.0	5.2	12 従業員の確保難	13.1	7.0	18.3
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	6.0	21.8	6.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	7.1	12.0	18.3
6 人件費の増加	4.8	8.5	6.1	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	1.8	2.1	6.1
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	7.0	7.0	15 その他	1.8	4.9	0.9
8 商品（製品）在庫の過剰	1.2	2.8	1.7				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

## 《建設業》

### 1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				今期(令和3年4月～6月期)と比べた 来期(令和3年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	32.0	36.0	32.0	0.0	16.0	48.0	36.0	△ 20.0	24.0	44.0	32.0	△ 8.0
2 採算(経常利益)	16.0	64.0	20.0	△ 4.0	16.0	60.0	24.0	△ 8.0	16.0	52.0	32.0	△ 16.0
3 資金繰り	4.0	92.0	4.0	0.0	8.0	88.0	4.0	4.0	0.0	96.0	4.0	△ 4.0
4 従業員(含 臨時・パート)	24.0	68.0	8.0	16.0	24.0	64.0	12.0	12.0	12.0	88.0	0.0	12.0
5 商品(製品)在庫	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	94.7	5.3	△ 5.3
6 業況(自社)	12.0	60.0	28.0	△ 16.0	16.0	60.0	24.0	△ 8.0	12.0	60.0	28.0	△ 16.0

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

### 2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	41.4	8.3	8.3	8.3	33.3	16.7	16.7	8.3	58.6
2 来 期	48.4	0.0	6.7	33.3	26.7	0.0	33.3	0.0	51.6

### 3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	36.0	5.9	21.4	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	4.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.0	0.0	14.3	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	12.0	11.8	0.0	12 従業員の確保難	24.0	11.8	28.6
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	23.5	0.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	5.9	14.3
6 人件費の増加	12.0	17.6	7.1	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	4.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	23.5	14.3	15 その他	4.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

### 4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・売上の増加は今後も見込めるが、社員の補充ができず、外注費が増加してしまう。
- ・建設業全体がコロナの関係で低速している。
- ・出雲市発注の公共工事の減少が感じられる。
- ・元請会社の手持ち工事が減ってきている。

## 《製造業》

### 1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				今期(令和3年4月～6月期)と比べた 来期(令和3年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	22.2	41.7	36.1	△ 13.9	42.9	25.7	31.4	11.4	26.5	55.9	17.6	8.8
2 採算(経常利益)	19.4	47.2	33.3	△ 13.9	25.7	45.7	28.6	△ 2.9	17.1	60.0	22.9	△ 5.7
3 資金繰り	5.6	69.4	25.0	△ 19.4	14.3	65.7	20.0	△ 5.7	8.6	68.6	22.9	△ 14.3
4 従業員(含臨時・パート)	22.2	63.9	13.9	8.3	20.0	57.1	22.9	△ 2.9	11.4	80.0	8.6	2.9
5 商品(製品)在庫	14.7	76.5	8.8	5.9	12.1	78.8	9.1	3.0	15.6	78.1	6.3	9.4
6 業況(自社)	11.1	61.1	27.8	△ 16.7	23.5	58.8	17.6	5.9	11.4	74.3	14.3	△ 2.9

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

### 2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	41.5	5.9	11.8	47.1	5.9	5.9	23.5	0.0	58.5
2 来 期	43.6	0.0	11.8	52.9	11.8	11.8	11.8	0.0	56.4

### 3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	44.4	9.7	12.0	9 金利負担の増加	0.0	3.2	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	8.3	0.0	20.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	11.1	16.1	12.0	12 従業員の確保難	13.9	3.2	16.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	13.9	29.0	8.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	5.6	12.9	24.0
6 人件費の増加	2.8	9.7	4.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	3.2	4.0	15 その他	0.0	6.5	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	6.5	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

### 4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・外国人実習生の受入れに関し、入国、出国が停滞しているため、人的労働力の確保が困難になっている。
- ・県内出荷は減少しているが県外出荷は増加している。ギフトも増加しているが、観光客は減少しており店の売上は厳しい。
- ・製造に関し、世界的な半導体不足が生じており、8月よりその影響を受ける。
- ・車輛部品の売上好調だが、加工に使う消耗品が値上がりしている。
- ・コロナの影響もなく例年どおり運営が出来喜んでいる。

- ・ウッドショックの影響を受けている。
- ・緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地区の酒販店からの受注が軟調。お土産物店の動きも悪い。
- ・電子部品が全国的に品薄になり、注文しても納期がかなり遅くなる物もある。機械組立に支障が出ていて困っている。

## 《卸 売 業》

### 1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				今期(令和3年4月～6月期)と比べた 来期(令和3年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	35.3	41.2	23.5	11.8	43.8	31.3	25.0	18.8	25.0	43.8	31.3	△ 6.3
2 採算(経常利益)	33.3	60.0	6.7	26.7	43.8	50.0	6.3	37.5	31.3	56.3	12.5	18.8
3 資金繰り	6.3	81.3	12.5	△ 6.3	6.3	81.3	12.5	△ 6.3	0.0	87.5	12.5	△ 12.5
4 従業員(含 臨時・パート)	5.9	70.6	23.5	△ 17.6	11.8	64.7	23.5	△ 11.8	11.8	82.4	5.9	5.9
5 商品(製品)在庫	17.6	64.7	17.6	0.0	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	17.6	58.8	23.5	△ 5.9
6 業況(自社)	17.6	76.5	5.9	11.8	25.0	68.8	6.3	18.8	23.5	58.8	17.6	5.9

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

### 2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	11.8	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	88.2
2 来 期	27.8	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	72.2

### 3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	47.1	6.3	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	8.3
2 新規参入業者の増加	0.0	6.3	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	6.3	16.7
3 単価の低下・上昇難	11.8	0.0	16.7	11 事業資金の借入難	0.0	6.3	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	5.9	12.5	0.0	12 従業員の確保難	5.9	6.3	33.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	11.8	18.8	8.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	11.8	18.8	0.0
6 人件費の増加	0.0	6.3	0.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	16.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	6.3	0.0	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	5.9	6.3	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

### 4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・前々年度と比較すると売上は半分も戻っていない状況。7月～9月にどれだけ売上を確保できるかによって、年間売上が大きく変わる。助成金に頼っているが、今後なくなれば雇用継続も厳しくなる。
- ・外国からの仕入が思うように入らず、入った時には資金の事は考えず、大量に仕入れをしているため、在庫は一杯となっている。しかし、万一品切れになれば、たちまち得意先は他社に移ってしまうため、確保に必死。全部コロナの影響。
- ・ウッドショックの影響あり。
- ・観光関係への卸は、2020年よりましであったが、2019年売上比で20～30%になった。
- ・健康、食、キッチン、インテリアに関する商品の卸が好調だった。一方で洋服の卸が不調であった。

## 《小 売 業》

### 1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				今期(令和3年4月～6月期)と比べた 来期(令和3年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	23.4	29.8	46.8	△ 23.4	42.6	19.1	38.3	4.3	23.4	44.7	31.9	△ 8.5
2 採算(経常利益)	14.6	41.7	43.8	△ 29.2	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	10.4	50.0	39.6	△ 29.2
3 資金繰り	0.0	80.9	19.1	△ 19.1	2.1	76.6	21.3	△ 19.1	2.1	78.7	19.1	△ 17.0
4 従業員(含臨時・パート)	4.5	88.6	6.8	△ 2.3	11.4	79.5	9.1	2.3	9.1	84.1	6.8	2.3
5 商品(製品)在庫	6.4	68.1	25.5	△ 19.1	14.9	55.3	29.8	△ 14.9	10.6	63.8	25.5	△ 14.9
6 業況(自社)	12.5	58.3	29.2	△ 16.7	12.5	54.2	33.3	△ 20.8	12.5	56.3	31.3	△ 18.8

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

### 2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	30.0	6.7	6.7	13.3	33.3	6.7	33.3	0.0	70.0
2 来 期	40.0	5.0	15.0	25.0	20.0	10.0	25.0	0.0	60.0

### 3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	50.0	12.5	14.7	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	15.0	5.9	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	2.9
3 単価の低下・上昇難	6.8	10.0	5.9	11 事業資金の借入難	0.0	2.5	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	6.8	2.5	8.8	12 従業員の確保難	13.6	2.5	11.8
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	4.5	20.0	0.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	6.8	10.0	23.5
6 人件費の増加	2.3	5.0	2.9	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	4.5	5.0	14.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	7.5	5.9	15 その他	4.5	5.0	2.9
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	2.5	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

#### 4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・市況経済所得の減少等から車業界も新車販売が減少している。車検は増加している。
- ・中古車においては大手業者の進出があり、中古車販売に影響が生じている。
- ・電化製品の故障による修理は多いが、販売には繋がっていない。
- ・4月に好調に推移していた売上が、県内の感染者増加のため、頭打ちになった。  
全国的な暗いニュースが改善されないとマインドの回復は難しいのではないだろうか。
- ・コロナの影響でイベント等の中止が多く、厳しい状況がまだまだ続きそう。
- ・コロナで旅行、外出でお金を使う事が少なくなり、社会にお金が回らなくなっている。
- ・観光客は少ない状況が続いているが、5・6月は例年に比べて気温が低かったせいか、売上が落ちなかった。
- ・コロナで外売が出来ないため
- ・外出する機会が減ってきており、流行の物（服）を着る機会がないため売れない。

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				今期(令和3年4月～6月期)と比べた 来期(令和3年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	38.8	28.6	32.7	6.1	42.6	25.5	31.9	10.6	21.3	55.3	23.4	△ 2.1
2 採算(経常利益)	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	23.9	41.3	34.8	△ 10.9	8.7	69.6	21.7	△ 13.0
3 資金繰り	10.6	63.8	25.5	△ 14.9	11.1	68.9	20.0	△ 8.9	6.7	73.3	20.0	△ 13.3
4 従業員(含臨時・パート)	6.5	73.9	19.6	△ 13.0	4.5	75.0	20.5	△ 15.9	2.3	88.6	9.1	△ 6.8
5 商品(製品)在庫	5.1	82.1	12.8	△ 7.7	2.7	86.5	10.8	△ 8.1	10.8	89.2	0.0	10.8
6 業況(自社)	14.6	45.8	39.6	△ 25.0	17.4	56.5	26.1	△ 8.7	15.2	60.9	23.9	△ 8.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画								実施・計画 していない
	した	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	34.5	0.0	15.8	31.6	21.1	15.8	15.8	0.0	65.5
2 来 期	23.5	8.3	25.0	25.0	16.7	25.0	0.0	0.0	76.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	63.0	13.2	6.7	9 金利負担の増加	0.0	2.6	6.7
2 新規参入業者の増加	4.3	2.6	6.7	10 代金回収の悪化	0.0	2.6	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.2	13.2	3.3	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	8.7	13.2	16.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	2.2	18.4	13.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	10.9	13.2	16.7
6 人件費の増加	6.5	7.9	13.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	2.6	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	2.6	10.0	15 その他	0.0	7.9	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	2.2	0.0	6.7				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

・ワクチン接種も終り、のびのびと仕事をしたいが、不特定多数を相手にするのは、なかなか怖い。

- ・島根県のWe love山陰キャンペーンと出雲市の出雲のお宿キャンペーン利用の宿泊者で何とか20～30%の稼働率が保たれていると感じる。この先、県外をまたいでの受け入れが重要な鍵となっており、コロナ収束のめどがたたない限り、この業界は壊滅的危機は脱出不可能。
- ・業界で昨年から60店舗以上が閉店に追い込まれている。設備投資をしたくても資金が不足している。
- ・新規顧客増加を見込み、チラシ折込を連続で企画したが、コロナ禍以前のような集客はなかった。出雲市プレミアム商品券も既存のお客が多く、新規開拓を期待していましたが難しい。
- ・5月、6月は総会時期であったが、懇親会は中止の会が多かった。宴会、婚礼は非常に厳しい状況。今年の忘年会頃には終息に向かってほしい。
- ・日帰入浴は好調であった。一方で宿泊は不調であった。
- ・宿泊関連の需要が少なく、対前比で売上が減少した。
- ・行事が少なくなることによるお客の来店のきっかけがなくなり、来店サイクルが長くなっている。
- ・お正月は大雪、また7月は大雨であった。自然にも来客が影響される職種のため、それをカバーする努力を一生懸命、頑張っている。12月の成人式が無事に出来る事祈っている。（都会に出ている学生さんの参加に懸けている。）
- ・コロナ禍でGWの人出が期待する程なかった。5月3日をピークに減少し、県外ナンバー車が激減した。5月4日以降は山陰両県内の車が多く、食材等の販売は好調であったが、お土産品の販売は不振であった。地元産の苺を取り扱ったところ好調であった。
- ・コロナ禍により、宿泊客の減少している。
- ・コロナ禍により、営業活動の機会が減っている。